

SONY

新商品ニュース

これまで捉えることのできなかった世界が撮れる

グローバルシャッター方式 フルサイズイメージセンサー世界初*搭載

* レンズ交換式デジタルカメラとして。2023年11月発表時点。ソニー調べ



α 9 III

商品について詳しくは
sony.jp/ichigan/



本カタログ掲載の価格には、配送・接続調整などの費用は含まれていません

α
ALPHA

α9 III Debut

ボディ ILCE-9M3 **近日発売予定**
オープン価格 ※オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください

Exmor RS CMOS Sensor BIONZ XR 4K HDR^{*1}

有効画素 約2460万画素	ブラックアウトフリー 最高約120コマ/秒 ^{*2}	ISO 250-25600 ^{*3} 拡張 125-51200	AF 759点 ^{*4} 位相差	リアルタイム 認識AF	リアルタイム トラッキング	クロップなし 4K 120p	8段光学式 ボディ内 手ブレ補正 ^{*5}	動画時 ^{*6} ダイナミック アクティブモード	EVF 約944万 ドット	4軸 マルチアングル 液晶モニター	デュアル スロット CFexpress Type-A SDXC UHS-II
------------------	--	--	---------------------------------	----------------	------------------	-------------------	--------------------------------------	---	---------------------	-------------------------	---

*1 HDR (HLG) 映像をテレビで表示する場合は、HDR (HLG) 対応ソニー製テレビと本機をHDMI接続しご覧ください *2 弊社測定条件による。撮影条件によっては連続撮影の速度が遅くなります。フォーカスモードがAF-Cのときは、装着するレンズによって連続撮影の速度が異なります。詳しくは、レンズ互換情報サポートページをご確認ください *3 静止画撮影時 *4 撮影モードにより点数は異なります *5 CIPA規格準拠、ピッチ/ヨー方向、FE 50mm F1.2 GM装着時、長秒時ノイズリダクションオフ時 *6 [ダイナミックアクティブ]では、[アクティブ]よりさらに画角が狭くなります。[ダイナミックアクティブ]に設定すると、超解像ズームが使用できなくなります

世界初^{*1}フルサイズグローバルシャッター方式の イメージセンサー搭載デジタル一眼カメラ



新規に開発した世界初^{*1}有効約2460万画素メモリー内蔵フルサイズ積層型CMOSイメージセンサーExmor RS™にグローバルシャッター方式を採用。画像を撮像面の上部の画素から順に読み出す従来のローリングシャッター方式とは違い、グローバルシャッター方式のイメージセンサーでは全画素を同時に露光、読み出しを行うので、高速で動く被写体を捉える場合でも、動体の歪みがまったくない見たままの撮影が可能です。またブラックアウトなしで、かつ最高約120コマ/秒のAF/AE追従連写^{*2}という新次元のスピード性能を実現。さらにAIプロセッシングユニットにより、狙った被写体を高精度に認識します。この高精度な認識性能と最高約120コマ/秒^{*2}の掛け合わせで決定的瞬間を捉えます。

*1 レンズ交換式デジタルカメラとして、2023年11月発表時点、ソニー調べ *2 弊社測定条件による。撮影条件によっては連続撮影の速度が遅くなります。フォーカスモードがAF-Cのときは、装着するレンズによって連続撮影の速度が異なります。詳しくは、レンズ互換情報サポートページをご確認ください

AF/AE追従 最高約120コマ/秒^{*1}

新規に開発したグローバルシャッター方式イメージセンサーの高速信号処理とBIONZ XRとの組み合わせにより実現した、α9 IIIの6倍もの最高約120コマ/秒^{*1}という新次元の連続撮影性能で、撮り逃すことのできない一瞬を捉えます。また、α9 IIIより2倍多い最高約120回/秒^{*2}のAF/AE演算を実現し、複雑な動きでスピードに緩急のある被写体でも高い精度でAF追従し続け、急激な輝度変化に対してもAEが即時対応します。連続撮影中も絶え間なく測距することにより、精度の高い追従性を維持し続けることができます。

*1 弊社測定条件による。撮影条件によっては連続撮影の速度が遅くなります。フォーカスモードがAF-Cのときは、装着するレンズによって連続撮影の速度が異なります。詳しくは、レンズ互換情報サポートページをご確認ください *2 シャッタースピードが1/160秒以上の場合に有効です。装着レンズや撮影設定によって異なる場合があります

シームレスなブラックアウトフリー撮影



ブラックアウトフリー撮影では、静止画撮影時にシャッターを切ることによりファインダー像が消失するブラックアウトがなくなります。被写体の動きが高速かつ不規則なスポーツ撮影に加え、被写体の表情の変化を一瞬でも見逃したくないポートレート撮影など、

さまざまなプロの現場において、これまでにない肉眼の見え方に近い撮影体験を提供します。

1/80000秒^{*}の高速シャッタースピード

グローバルシャッター方式のイメージセンサー搭載によりメカシャッターレス化を実現。メカシャッターでは難しかった制約から解放され、静止画の単写撮影時では最速シャッタースピード1/80000秒(連続撮影時は1/16000秒)に到達。高速で動く被写体であっても、止まっているかのように一瞬を捉えた表現ができます。

* 連続撮影時、F値が1.8より明るい設定で撮影すると、シャッタースピードが上限1/16000秒になります。動画撮影時、高分解シャッター機能使用時、レンズ未装着時はシャッタースピードは1/80000秒になりません

シャッターを切る前の瞬間を遡れるプリ撮影^{*1}



シャッターボタンを半押ししながら被写体を捉えた後に全押しすると、半押ししていた最大1秒前^{*2}までの連写画像を記録することができるプリ撮影^{*1}機能を搭載しています。例えば鳥の撮影時、飛び立つ瞬間に全押しが間に合わなくても、シャッターボタンを押す前に遡って

撮影されています。また、すべてのファイル形式/画像サイズでクロップされることなく、AF/AE追従最高約120コマ/秒^{*3}の連続撮影ができるので、高画質なまま多くの瞬間を遡って記録できます。

*1 連続撮影の速度が速い場合、本機の温度が上昇しやすくなります。そのため、撮影環境温度によっては機器保護のためプリ撮影を停止することがあります *2 撮影条件によっては、遡れる時間が短くなります *3 弊社測定条件による。撮影条件によっては連続撮影の速度が遅くなります。フォーカスモードがAF-Cのときは、装着するレンズによって連続撮影の速度が異なります。詳しくは、レンズ互換情報サポートページをご確認ください



AIプロセッシングユニット



α9 III FE 24-70mm F2.8 GM II 53mm 1/6400秒 F8 ISO400

全速フラッシュ同調 すべてのシャッタースピードにフラッシュを同調

従来のカメラとフラッシュの組み合わせにおいて、フラッシュの同調速度以上の速いシャッタースピードのハイスピードシンクロ(HSS)で撮影する場合、光量が低下してしまいます。しかし本機では「HVL-F60RM2」、「HVL-F46RM」^{*1}など対応するソニー製フラッシュを装着すれば、グローバルシャッター方式イメージセンサーによりシャッタースピード1/80000秒(連続撮影時は1/16000秒)^{*2}までの全速でフラッシュを同調して撮影することが可能です。そのため、日中の晴れた屋外でフラッシュを使って撮影する際、高速シャッタースピードでもフラッシュで被写体を明るく撮影できます。これまで大型照明機材を使って撮影していた大光量が必要なポートレート撮影などにおいて、フラッシュを使った撮影が可能になるため、ライト設営の手間が省け、利便性が高くなります。

*1 ソフトウェアアップデートが必要です。ソフトウェアはα9 IIIの発売日に合わせて公開予定です。シャッタースピードを1/10000秒よりも高速側で撮影した場合、明るさと色味に変化する場合があります。またシャッタースピードの設定によっては光量レベルが不足して、設定されたマニュアル発光量に達しない場合があります。詳しくは専用サポートページ(https://www.sony.net/dics/ilce9m3fi/)をご覧ください *2 F値が1.8より明るい設定で撮影すると、シャッタースピードが上限1/16000秒になります。高分解シャッター機能使用時、レンズ未装着時はシャッタースピードは1/80000秒になりません

革新的なスピード性能を生かすAFシステム

最新の画像処理エンジンBIONZ XRに加え、AI処理に特化したAIプロセッシングユニットを搭載。ディープラーニングを含むAI処理で、人物の骨格や姿勢などの詳細な情報に基づいた、より高精度な被写体認識が可能に。さらに、動物の種類、乗り物、昆虫など、より幅広い被写体を認識します*。α9 IIIより大きく進化した次世代AFシステムが、撮影をサポートします。

* カメラで選択できる認識対象は、人物、動物/鳥、動物、鳥、昆虫、車/列車、飛行機です。設定通りにすべての被写体を認識できるわけではありません。また、設定と異なる被写体を認識する場合があります

快適な操作性

- 長時間握っていても疲れないグリップと自然な角度のシャッターボタン
- カメラ前面に新しく追加されたカスタムボタン(C5)
- 4軸マルチアングル液晶モニター
- 約944万ドット電子ビューファインダー
- 充実のダイヤル



プロの撮影をサポートする縦位置グリップ(別売)

横位置撮影時と同様の操作性とホールド性を実現した縦位置グリップVG-C5は、長時間の撮影を快適にサポートします。本体同様、カメラ前面のカスタムボタン(C5)、フロントダイヤル、LとRの2個のリアダイヤルを搭載するなど、カメラと共通の操作性で違和感なく撮影が可能です。リチャージャブルバッテリーパックNP-FZ100を2個装着可能。さらに、2個のバッテリーからの並列供給回路による電源供給方法の工夫により、VG-C4EMと比べ長時間撮影が可能になりました。



近日発売予定

縦位置グリップ
VG-C5
希望小売価格 55,000円(税込)

α9Ⅲ

近日発売予定

ボディ ILCE-9M3 オープン価格

※オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください



α9Ⅲの詳しい特長や仕様、作例については製品ページにてご確認ください。
sony.jp/ichigan/products/ILCE-9M3/



豊富なラインアップの フルサイズミラーレス 専用設計レンズ

圧倒的な高解像度と、とろけるような美しいほけ味を
高次元で両立させたGマスター。

ソニーの光学テクノロジーの粋を極めたGレンズ。

忠実な色再現とヌケが良く透明感のある描写のツァイスレンズ。

3種のブランドのフルサイズミラーレス専用設計のレンズは、
豊富なラインアップを誇ります。



α Eマウントレンズ ウェブサイト

sony.jp/ichigan/lineup/e-lens.html

焦点距離別のレンズラインアップをはじめ、
レンズ構成やMTF曲線、撮影サンプルなどの
詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。



α Universe

sony.jp/ichigan/a-universe/

第一線で活躍するプロフェッショナルによる
αで撮られた珠玉の作品を公開。さらに撮影
秘話やテクニック、新しい表現やユニークな
活動の様など、カメラファン必見の情報を
随時配信しています。



α Academy

msc.sony.jp/ichigan/a-academy/

αの使い方講座から、プロカメラマン同行の
撮影実習まで、レベルに応じた講座を多数用意。
全国5カ所(札幌・銀座・名古屋・大阪・福岡天神)
とオンライン校で開講中。



安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書・安全のために」をよくお読みください

安全点検のお願い

このような症状はありませんか
●電源コードが痛んでいる ●変なにおいがしたり、煙が出たりする ●内部に水や異物が入った

使用中を中止

バッテリーをはずすかコンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください

安全に使用するための注意 ●裏ぶたをはずしたり、内部の改造をしたしないでください ●バッテリーは、指定された充電器以外で充電しないでください ●バッテリーは、火の中に入れて、ショートさせたりしないでください。また、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしないでください ●濡れた手で充電器やバッテリーパックをさわらないでください ●商品使用上の注意 ●あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむものほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません ●万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償についてはご容赦ください ●モニターに表示画面は実際のものや絵、または写真と比較して色や形が異なることがあります ●カタログ上の注意 ●カタログ掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください ●カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります ●材質は、商品の主材料を示します ●カタログ掲載商品のなかには地域により品薄・品切れになるものもありますので、販売店にお確かめのうえ、お選びください ●カタログに掲載の商品と他の関連機器などを接続する場合は、指定のコードを用い、各機器の取扱説明書をよく読み指示に従って接続してください ●商品購入時の注意 ●購入の際は、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください ●当社は、カメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています ●商標について ●SONYはソニーグループ株式会社の商標です ●α、αはソニーグループ株式会社の商標です ●G Master、Gマスター、G MASTER、GレンズおよびGは、ソニーグループ株式会社の商標です ●Exmor RSおよびExmor RSはソニーグループ株式会社の商標です ●BIONZ XR、BIONZ エクスアールおよびBIONZ XRはソニーグループ株式会社の商標です ●Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です ●SD、SD、SD およびSDは、SD-3C LLCの商標です ●その他記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中にはTM、®マークは明記していません ●バックアップのすすめ ●万一、カメラや記録媒体の不具合により撮影できない場合や記録内容が破損・消滅し再生できない場合、画像や音声などの記録内容の補償はご容赦ください。大切な記録内容は定期的なバックアップをおすすめします。

製品情報は「サクサク」「My Sony アプリ」で。
シンプル画面で「知りたい」が見つげやすい。
製品購入後は「使いこなし情報」を手元にお届け。

ソニー ウェブサイト sony.jp/

ソニー株式会社
ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

商品に関する問い合わせ窓口

LINE、チャット、メール、電話など
さまざまな方法でお問い合わせできます
左記の二次元コードからアクセスできますので、
お気軽にご相談ください
sony.jp/support/inquiry/

カタログの内容について、詳しく知りたいかたは、近くのソニー商品販売店、
または商品に関する問い合わせ窓口にお問い合わせください

お買い求めは当店へ

2023.11
カタログ記載内容2023年11月現在
本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用